

学 科	服飾美術専攻	担 当 教 員	唐澤 克樹		
授 業 科 目	地域活性化論	科目区分	専門科目	2 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1, 2 年次・前期 (隔年)
授業の主題 目 標	<p>【主題と概要】自分たちが住む地域をより良くするために、地域活性化が求められている。本講義では、地域活性化を担う「人」に焦点をあて、倉敷市内で取り組まれている地域活性化について考察することが目的である。また、フィールドワークを行うことで、地域活性化の手法と併せて地域調査 (社会調査) の手法を身に付け、提言を含めたレポートを作成することも目的である。</p> <p>【到達目標】本講義の目標は、①地域活性化の事例を踏まえて活性化の意義や手法を理解すること、②質的調査方法を理解し身に付けること、③文献調査やフィールドワークから得られた内容を基に政策提言を行うことである。</p>				
授業の内容 進 め 方	<p>【授業の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 講義概要, 倉敷市はどのような街か 2. 倉敷市の歴史と特色 (1) —自然と歴史— 鷺羽山, 由加山, 亀島山, 瀬戸内海, 産業と自然の関係 3. 倉敷市の歴史と特色 (2) —産業と企業— 繊維産業, コンビナート開発, 旧倉敷・児島・玉島の三市合併 4. 倉敷市の歴史と特色 (3) —生活と住環境— 生活, 労働, 所得水準, 買い物, 公園, 住まい 5. 質的調査法 (1) —質的調査とは— 研究論文を書くために必要なこと, 質的調査と量的調査 6. 質的調査法 (2) —調査の準備— ヒアリング調査の種類と手順, 参与観察, エスノグラフィ 7. 質的調査法 (3) —調査対象を選ぶ— サンプル, アポイントメント, 信頼関係, 誰に何を聞いてどのようなことを明らかにするのか 8. 質的調査法 (4) —調査結果をまとめる— 信頼性と妥当性, テープ起こし, グランデッドセオリー, KJ 法 9. 地域調査 (1) —調査の準備— グループ編成, 調査準備, 調査目的と仮説の設定 10. 地域調査 (2) —文献調査— 図書館を活用した文献調査, 地域経済分析システムの活用 11. 地域調査 (3) —ヒアリング調査— 対象となるサンプリングを行う, 調査依頼を行う 12. 地域調査 (4) —調査する— 調査を実施する 13. 地域調査 (5) —調査まとめと考察— 結果から何が得られたか考える 14. 地域調査 (6) —提言— 調査結果を基にレポート作成 (グループ), 提言を考える 15. 講義まとめ—調査報告会— プレゼンテーションを行う <p>定期試験は実施しない</p> <p>【授業の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料, 板書によって授業を展開する。写真, 映像, スライドを活用することがある。 ・グループワークを行う。 ・授業内容などを踏まえたディスカッションを行うことがある。 				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	【教科書】 初学者のための質的研究 26 の教え	中 寫 洋	医学書院	1, 980 円	
	【参考書】 フィールドワークの技法	佐藤郁哉	新曜社	3, 190 円	
	【参考書】 サステイナブルな地域と経済の構想	相田利雄 他 編	御茶の水書房	6, 380 円	
	※参考書は必ずしも購入する必要はない。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。				
準備学習の 具体的内容	質的調査は事前準備が必要である。 教科書や参考文献をよく読むこと。				
評価の方法 基 準	期末レポート・報告 (60%) 授業内課題 (40%)				
履 修 上 の 注 意	フィールドワークは土日に実施する場合もある。 交通費が必要となる。 グループワークが必須である。				